

ミサ曲 ハ長調 K.317

「戴冠ミサ」



指揮
永峰大輔

C.N. IKEGAMI



ソプラノ
佐藤美枝子



メゾ・ソプラノ
丹呉由利子



テノール
村上敏明



バリトン
井出壮志朗

ヴァイオリンI …… 枝並千花
ヴァイオリンII …… 川又明日香
チェロ …… 山田慧
オーボエI …… 古山真里江
オーボエII …… 高橋舞
チェンバロ …… 永野光太郎
ピアノ …… 脇岡洋平



合唱
コーラルファンタジーinひの

2021年

3月14日(日)

15:30開演(15:00開場)

ひの煉瓦ホール
(日野市民会館)大ホール

【曲目】▼第一部 オペラアリア

▼第二部 モーツァルト作曲

ミサ曲 ハ長調 K.317「戴冠ミサ」

料金(全席指定・税込)

S席:3,000円 A席:2,000円

高校生以下(S席・A席とも):1,000円

※未就学児入場不可

チケット発売日/1月23日(土)10:00~

※初日は電話予約のみ

チケットプレイガイド

- 七生公会堂 …… TEL:042-593-2911
- オンラインチケットサービス(会館ホームページ内)

フレッシュ名曲コンサートとして、東京フィルハーモニー管弦楽団との共演を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、第一部はピアノ伴奏、第二部は特別編成の室内楽演奏で開催いたします。

自主事業における 新型コロナウイルス感染拡大防止策について

- 会館内ではマスクの着用をお願いいたします。来場時は手指消毒、こまめな手洗いのご協力をお願いいたします。
- ご自宅を出られる前に検温をお願いいたします。37.5度以上ある方や体調がすぐれない場合はご来館をお控えください。会場入場時にも非接触型体温計で検温をいたします。37.5度以上ある方はご入場いただけません。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保健所や公的機関の要請によりお客様の情報を提供する場合があります。あらかじめご了承のうえお申込みください。
- 今後の感染拡大状況により、急遽公演が中止になる場合がございます。

マスク着用 手洗い・消毒

検温 座席数制限の場合あり

検温 座席数制限の場合あり

検温 座席数制限の場合あり

検温 座席数制限の場合あり

検温 座席数制限の場合あり

ご予約
お問合せ

ひの煉瓦ホール(日野市民会館) 042-585-2011

〒191-0016 東京都日野市神明1-12-1 FAX:042-587-7577 [開演時間]9:00~21:30 [休館日]毎週月曜日、第二火曜日、年末年始

主催:日野市民会館(指定管理者) 株式会社ケイミックスパブリックビジネス 協力:芸術文化の薫るまちinひの 実行委員会

日野市民会館

検索

<https://www.hino-kaikan.jp/>

※会館公式ホームページ 24時間いつでも
チケットをお求めいただけます。



Profile

●指揮 永峰大輔

1977年千葉県生まれ。洗足学園音楽大学附属指揮研究所を経て、ヴァイマル・フランツ・リスト音楽大学、メクレンブルク・フォアポマーニ州立歌劇場にて研鑽を積む。2008年には、ブラジル、エリアザール・デカルヴァーリョ音楽祭に客演指揮者として招聘され、日伯移民100周年を記念する演奏会を指揮した。これまでに日本国内の主要オーケストラに客演するほか、(財)2012年から15年まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団副指揮者として、主催公演を含む年間20公演以上を指揮。在任中、アトランダで開催された第5回ICW国際指揮コンクール(2014年)の最優秀指揮者に選出されている。また2015年/16年シーズンにはNHK交響楽団にて、首席指揮者パヴァー・ケルヴィのアシスタントを務めた。近年ではNHK音楽祭シンフォニック・ゲームズ(NHKBSにて放送)を、2016年から3年連続で指揮。2018年に京都フィルハーモニー室内合奏団第214回定期演奏会に登壇。ウクライナの指揮マスタートークラスにて最優秀指揮者賞である「ニコライ・ハセリビッチ」を受賞したこときっかけに、2020年にはチェルニー・ヒューフェルハーモニー交響楽団定期演奏会に招かれ、スタンディングオベーションの絶賛を受けるなど着実にキャリアを重ねる一方、子供向け企画や多彩なエンタテインメント企画においても定評があり、幅広い活動を続けている。

●ソプラノ 佐藤美枝子

武蔵野音楽大学卒業。(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第9期生修了後、イタリアに留学。留学中、第7回五島記念文化賞オペラ新人賞を受賞し、1997年より(財)五島記念文化財団の奨学生としてさらに2年間イタリアで研鑽を積む。1998年、第11回チャイコフスキー国際音楽コンクール声楽部門で日本人初の第1位を受賞、世界の注目を集める。CDはビクター・エンタテインメントより「至上のルチア」「ああ、信じてないわーオペリア集」など7枚をリリース。2011年3月東京(藤原歌劇団公演)、2012年9月名古屋(愛知県文化振興事業団プロデュースオペラ)においてオペラ「ランメルモールのルチア」のタイトルロールで、2015年には錦織健プロデュース・オペラ第6弾「後宮からの逃走」にコンスタンツェ役で出演、好評を博した。2016年には藤原歌劇団「ドン・パスクアレ」ソリーナ、「ジャンニ・スキッキ」ラウラック、ブーラック「人間の声」、「ラ・ボエーム」ミミと新役に挑戦、意欲的な活動を続けている。第9回光音楽賞、第2回ロシア歌曲賞、第10回新日録音楽賞(現・日本製鉄音楽賞)フレッシュアーティスト賞、第50回ENEOS音楽賞の各賞を受賞。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。

●メゾ・ソプラノ 丹呉由利子

昭和音楽大学卒業、同大学大学院修了。第47・51回日伊声楽コンクール入選。在学中に、昭和音楽大学オペラ「ピーア・デ・トロメ」(日本初演)のロドリゴでデビュー。以降「ジャンニ・スキッキ」ソリーナ、「魔笛」侍女Ⅲ、他多数のオペラに出演。藤原歌劇団には、2015・19年「ラ・トラヴィアータ」フロラ、16年「愛の妙案」ジャンネッタ、17年「セビリアの理髪師」ロジータ、21年「フィガロの結婚」ケルビーノで好評を得ている。また、M.デヴィアー氏の推薦による文化庁委託事業「オペラリア・コンサート」/「メサイア」/「第九」等宗教曲のソリスト、BS-TBS「日本名曲アルバム」等にも出演。21年6月藤原歌劇団公演「蝶々夫人」ススキに出演予定。藤原歌劇団団員。
https://yurikotango.crayonsite.com

●テノール 村上敏明

国立音楽大学卒業。文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリアのポローニャに留学。第9回マダム・パタフライ世界コンクールグランプリ優勝をはじめ、15のコンクールで優勝・上位入賞を果たす。第40回日伊声楽コンクール第1位、第35回イタリア声楽コンクールシエナ大賞など多数受賞。藤原歌劇団には、05年「ラ・トラヴィアータ」のアルフレードでデビュー。以後「蝶々夫人」ピンカント、「ラ・ボエーム」ロドルフォ、「リゴレット」マントヴァ伯爵等、当分のリモノテノールとして活躍を続けている。日本オペラ協会には、「葵上」光源氏、「夕鶴」と互ひょうに出演し好評を得ている。NHKニューイヤーパーラコンサートに連続出演の他、「第九」等でも活躍している。22年「イルトロヴァターレ」マダム・デューイ出演。第15回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。藤原歌劇団団員。

●バリトン 井出壮志朗

武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。第27回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第2位、第47回イタリア声楽コンクールシエナ大賞受賞。第55回日伊声楽コンクール入選。第17回東京音楽コンクール第3位他、多数の賞を受賞。2015年文化庁・次代の文化を創造する新進芸術家育成事業「ラ・ボエーム」ショールでオペラデビュー。これまでに「フィガロの結婚」アルマヴィーヴァ伯爵、「ロジ・ファン・トゥッテ」グリエルモ、「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロール他、多数のオペラに出演し、藤原歌劇団には、「カルメン」エスカミーリョでデビュー。21年「フィガロの結婚」のアルマヴィーヴァ伯爵で好評を得る。その他、「第九」など、交響曲や宗教曲のソリストでも活躍。藤原歌劇団団員。

●ヴァイオリンI 枝並千花

4歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て、同大学音楽学部卒業。1998年第52回全日本学生音楽コンクール中学生の部全国第1位。東横賞、鬼束賞、都築音楽賞受賞。2001年第10回日本モーツァルト音楽コンクールヴァイオリン部門第3位入賞。2003年第24回ミケランジェロ・アナト国際ヴァイオリンコンクール優勝、及びソナタ賞受賞。ミラにて受賞コンサート出演。2004年「井上道義の上り坂コンサート」にソリストとして出演。同年、大友直人指揮、東京交響楽団と共演。2005年ソウルにて日韓交流演奏会に出演するなど、学生時代から多くの演奏会に参加。これまでに奥村和雄、辰巳明子各氏に師事するほか、ザール・ブロン、ジュラル・ブーレ、レジス・バスキエ、ドン・スカク、シュロモ・ミンツ、マキシム・ヴェグナー各氏に指導を受ける。2006年4月東京交響楽団へ入団。退団後はソリスト、室内楽奏者、コンサートマスターとして幅広く活動。日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団等にゲストコンサートマスターとして招かれる。宮崎国際音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ、東京春音楽祭などへの出演に加え、桐朋学園大学音楽学部非常勤講師として後進の指導にも力を注いでいる。2009年CHANEL Pygmalion Daysアーティスト。同年デビューCD「夢のあとに」をリリース。2014年6月、ブルーノ・ワルターへのヴァイオリンソナタが日本初録音された2ndアルバム「INDE」をリリース。同年7月、名古屋フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団と協演。2016年12月ユニバーサル・ミュージックより、3rdアルバム「LOTUS」をリリース。Music Dialogアーティスト。2018年6月、自身によるオーケストラプロジェクト「ORCHESTRA POSSIBLE(オーケストラ・ポッシブル)」初のフルオーケストラ公演を成功させた。



©松尾淳一郎

●ヴァイオリンII 川又明日香

3歳からヴァイオリンを始める。ジュネーブ州立高等音楽院修士課程ソリストコースをMaggie Breittmayer賞を得て修了。第2回仙台国際音楽コンクール審査委員特別賞。第37回茨城県新人賞受賞。2010年にソロアルバム「I」をリリース。2019年11月に放送されたNHKBSプレミアム「クラシック倶楽部 無言館・折01」に出演。現在はフリーの演奏家としてソロや室内楽、都内主要オーケストラのエキストラ奏者、ゲスト首席として客演等幅広く活動している。



●チェロ 山田慧

1996年、新潟県生まれ。9歳より新潟市ジュニアオーケストラ教室でチェロを始める。県立新潟中央高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部を卒業。チェロを渋谷陽子、松波恵子、バロック・チェロ、ヴィオラ・ダガンバを武澤秀平、Emmanuel Girard各氏に師事。室内楽を磯村和英、藤井一興、漆原啓子、菊地知也各氏に師事。古楽アンサンブルを有田正広、上尾直毅、有田千代子、尾崎温子各氏に師事。在学中に、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭、第20回記念「別府アルケリッチ音楽祭2018」他、多数の公演にオーケストラメンバーとして参加。古楽アンサンブル「プティ・ヴァイオリン」、アンサンブル室町メンバー。指揮者のいないオーケストラ「ルートヴィヒ・カメラータ」主宰。現在、桐朋学園大学研究科古楽器専攻に在籍。



●オーボエI 古山真里江

大阪府出身。13歳よりオーボエを始める。大阪桐蔭高等学校を経て東京藝術大学音楽学部に入学、同大学卒業。在学中ソリストとして、藝大モーニングコンサートにて藝大フィルハーモニーと協奏曲を共演、好評を博す。卒業時に同声会賞を受賞。同声会新人演奏会、室内楽定期演奏会ほか出演。第11回中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト関西の部第1位。第28回日本管打楽器コンクール第2位。第18回コンセルマロニエ21木管部門第3位。第82回日本音楽コンクール入選。これまでにオーボエを中山和彦、古部賢一、池田昭子、小畑善昭の各氏に師事。2016年宮崎音楽祭に出演。2017年アフィニス夏の音楽祭にてC.ハーマン氏に薫陶を受ける。大学卒業と同時に(公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席オーボエ奏者に就任。現在に至る。また、洗足学園音楽大学非常勤講師。(株)Winds Score「個人練習のための教則本 IDEAS FOR WARM-UP」アドバイザー。



●オーボエII 高橋舞

桐朋学園大学音楽学部卒業、同大学研究科修了。卒業演奏会、第81回読売新人演奏会に出演。オーボエを嶋崎耕三、浦田彦の両氏に師事。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団オーボエ奏者。埼玉県立芸術総合高等学校、桐朋学園大学音楽学部 非常勤講師。



●チェンバロ 永野光太郎

<ピアノ> 1988年生。東京都八王子市出身。作曲家の両親の元、3歳でピアノを始める。東京芸術高等学校に文化特別推薦で入学し、2007年ピアノ科を卒業。高校卒業後、音楽大学のピアノ科に合格するが入学を辞退し、独自の方法で研鑽を積むことを選択。カナダのモントリオールにてダン・タイ・ソン氏に師事し、大阪にて、クラウディオ・アラレス氏に師事している。第2回オーストラリア国際ショパンピアノコンクールにおいて第1位、併せて聴衆賞を受賞。台北ショパン国際ピアノコンクールにおいて第1位、併せて台湾作品最優秀演奏特別賞を受賞。第2回ソリーナ・チェルニーニステファンスカ記念国際ピアノコンクールにおいて第2位、併せてショパンのクダケン賞を受賞。東京ピアノコンクール第1位。第1回ショパン国際ピアノコンクールにおいてディプロマ賞など、数多くの国際コンクールに入賞。世界各国で演奏活動を行い、東京、ワルシャワ、モントリオール、クラフ、台北、シドニー、キャンベラ、メルボルン等でコンサートを開催。これまでに、仙台フィルハーモニー管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、高崎市交響楽団、ボズン交響楽団、ウオムジヤ室内管弦楽団と共演。2017年北島三郎氏を団長とする「八王子市制100周年記念、100年応援団」の団員に任命された。2017年11月には若手ピアニストの登門である横浜招待国際ピアノ演奏会に出演した。2018年には社の都コンサートで仙台フィルハーモニー管弦楽団と共演。日本フィルハーモニー交響楽団 弦楽オーケストラコンサートに出演。木下牧子氏のピアノ・コンチェルトをオーケストラ・プロジェクト2012 (東京オペラシティ)で初演。また、CD「木下牧子室内楽作品集 もうひとつの世界」のピアノを担当し、レコード芸術の特選盤となる。2017年発売の「木下牧子ピアノ作品集『夢の回路』」は「CDジャーナル」と「音楽現代」で推薦盤に、レコード芸術(現代曲部門)で準特選盤に選ばれた。2018年池田晋一郎大全集プロジェクトで歌曲とピアノソロ作品を演奏した。キャンベラのオーストラリア国立大学でマスタークラスを開催するなど、後進の指導にもあたっている。現在、八王子音楽院で講師を務めている。



<チェンバロ> J-city TOKYOチェンバロ プレジャー2014において第1位。2013年大阪国際音楽コンクールのチェンバロ部門で第3位。2014年第27回 国際古楽コンクール<山梨>チェンバロ部門においてファイナリスト。早稲田、末広町、銀座、八王子市、世田谷区、国立市、キャンベラなどでチェンバロ・リサイタルを開催。シャル・ピグマリオン・デイズ10周年記念コンサートにて、ヴィヴァルディ「四季」の通奏低音を演奏した。横浜シルベスターコンサート2016-2017では、テレマンの2台ヴァイオリンのための協奏曲の通奏低音を演奏した。2018年の八王子音楽祭の一環として、パッサのコーヒー・カンタータのチェンバロパートを務めた。また同年、古楽オーケストラLa Musica Collanaの通奏低音を担当し大阪、盛岡、東京公演に出演した。日本フィルハーモニー交響楽団 弦楽オーケストラコンサートに出演。<チェンバロ製作> 2012年よりチェンバロやヴァージナル、クラヴィコード、スピネットの製作を行っており、現在までに11台の楽器を完成させた。2018年には高円寺のソフィアザール サロン「バロック」にフレンチ・チェンバロを納入した。演奏法の歴史を研究していくうちにその作品が作られた時代の音を再現してみたいと思い、古楽器を製作したいと思うようになった。2012年ドイツのライプツィヒにある楽器博物館を訪れた際に、17世紀後半のジャーマン・ヴァージナルに出会った。その美しいフォルムに感銘を受け、設計図を購入し製作を始めた。

●ピアノ 脇岡洋平

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部卒業。2010年ベルリン「ハンス・アイスラー」音楽大学院コンツェルトイグザメン課程の卒業試験において最高点で卒業し、国家演奏家資格を取得。その後1年間グダベスタのリスト音楽院にて学ぶ。在学時よりかずさアカデミアピアノコンクール、日本音楽コンクール、浜松国際ピアノアカデミーコンクール、などの国内のコンクールをはじめ、カラブリア国際ピアノコンクール、ポルト国際ピアノコンクール、アルトゥール・シュナーベルピアノコンクール、フランツ・リスト国際ピアノコンクールなどの数々の国際コンクールにて入賞を重ねる。2005年度より明治安田文化財団奨学生に2年間、2007年度文化庁海外研修生、また2008年度よりローム音楽財団研修生となる。隔年おきに開催されている東京文化会館でのリサイタルは音楽誌上でも高い評価を受けている。またこれまでに藝大フィルハーモニー、ニューフィルハーモニー千葉、東京シティ・フィルハーモニック交響楽団、ジョイフルオーケストラ高知、ブランドンブルグ交響楽団、ベルリンコンツェルトハウスオーケストラ等と共演。現在ソリストや室内楽奏者として日本各地及びヨーロッパで活動し、後進の育成やコンクールの審査にも携わっている。元東京藝術大学音楽学部付属音楽高等学校非常勤講師。現在、日本大学芸術学部非常勤講師。



●コーラルファンタジーinひの

2007年日野市が「ベートーヴェン第九コンサート」を催すにあたって市民合唱団を募集しました。これが母体となり、2017年からは「特定非営利活動法人 芸術文化の薫るまちinひの実行委員会」の合唱団として活動しています。演奏会ごとに合唱団員を募集し、今回も日野市を中心に合唱好きの仲間が集まりました。一流のソリストをお招きして、今回のために参集くださった特別編成の室内楽の伴奏で迫力のある演奏をこの日野市でお届けいたします。歌う人も企画する人もご賛同いただける方のご参加をお待ちしています。(合唱指導:泉智之、田中裕太/ピアノ:松嶋亮生)

